



## ■ 防災訓練の実施

### ① 避難所開設・運営訓練

避難所となる小中学校体育館等を会場とし、避難所ごとに避難所開設・運営訓練を開催しました。コロナ過であるため、規模を縮小しての開催となりましたが、ほぼすべての避難所において訓練が行われ、避難経路の確認、避難者の受付手順の確認に加えて備蓄資機材の設置などの訓練も行いました。

なお、3か所の避難所では、避難所運営協議会が設立され、初めて協議会独自での避難所開設訓練が開催されました。



## ■ 防災情報通信

### ① 同報系防災行政無線

災害時における情報伝達の迅速・正確・円滑性を図り、市民の生命財産の安全を確保すること及び、平常時に一般行政事務の効率化を図ることを目的に、市内に全89基の子局を設置しています。令和4年度は、7基の子局をデジタル化しました。

### ② みずほ市民メール及びLINE（ライン）

防災行政無線による放送を補完するため、放送内容、気象情報、イベント情報など市からの様々なお知らせをメール及びラインにて、放送と同時に送信を行っています。

（令和5年2月末現在の登録数は、累計で12,909件です。）

なお、放送と同時に市HPにて、放送内容の掲載を行っています。



## ■ 防災リーダーの育成

### ① 防災講演会の開催

自治会長・自治会役員・防災士・災害ボランティアコーディネーター等市内の防災にかかわる方々を参加者とし、講演会を開催しました。認定NPO法人レスキューストックヤード常務理事の浦野講師より、「できることから始めよう！健康と活力を守る避難所運営」の演題で講演していただきました。

### ② 防災リーダー研修会の開催

市内の防災士・災害ボランティアコーディネーターの方々を対象に防災リーダー研修会を開催しました。参加者14名が3日間わたり、認定NPO法人レスキューストックヤード代表理事の栗田講師をはじめ多数の講師から、主に「災害時の避難所の生活や運営」について学びました。



## ■ 防災備蓄

### ① 備蓄資機材の充実

パーティション、エアマットレス、簡易トイレなど避難所を運営するために必要な備蓄資機材の備蓄を進めています。

令和4年度は、県補助金や国の交付金を一部活用して、パーティション、エアマットレス、非接触型体温計を購入したほか、備蓄用燃料缶、段ボールベッド、アルファ化米、カロリーメイト、スーパーバンス、飲料水なども購入しました。

### ② 備蓄物資の充実

粉ミルクや使い捨て哺乳瓶、生理用品、大人用紙おむつなど、災害時に配慮が必要な方（要配慮者）に向けた備蓄品や食料の備蓄を進めています。令和4年度には、粉ミルク、生理用品を購入しました。



## ■ 災害時応援協定

### ① 応援協定の締結

令和4年度は、大塚ウエルネスベンディング(株)東海支店と(株)伊藤園の2社と、サンコーパレットパーク（中山道大月多目的広場）への自動販売機設置に伴う協定を締結しました。協定は、災害時に施設に避難された被災者に対して自動販売機内の飲料水等を無償で提供することができる内容となっています。また、自動販売機を広場に設置することで、平時についても広場を利用される方々の熱中症対策に役立ちます。

これまでにも、様々な団体と協定を締結しており、現在は63件となっています。



## ■ 啓発、その他

### ① 出前講座等の実施

自治会、小中学校、老人クラブ、子育て支援センター等へ出向き、防災に関する講座を行っています。令和4年度は、12回の出前講座を行いました。

### ② 各種防災マニュアルの作成

避難所運営マニュアル、避難情報の判断・伝達マニュアル、BCP（業務継続計画）等を作成・改訂を行っています。





## ■ 瑞穂市総合防災訓練の実施

令和5年度は、行政機関、市内協力団体、自衛隊、協定関係者等の協力を得ながら、糸貫川運動公園を会場として、総合防災訓練の実施を予定しています。

## ■ 避難所確認訓練の実施

避難を予定している自治会毎に避難所へ集合し、避難所の自主運営を目指した訓練を実施します。また、当訓練の実施を自治会連携によるものとし、より避難所運営協議会設立に向けた意識の啓発を目指します。

## ■ 消防力の強化

消防団で使用している、軽積載車3台の更新及び可搬ポンプ1台の購入を行います。

## ■ 防災備蓄品の充実

食糧、飲料水等の防災備蓄品を計画的に購入し備蓄を継続します。また要配慮者のニーズをとらえた備蓄品の備蓄を進めます。

## ■ 防災行政無線デジタル化の推進

牛牧小校区に設置している防災行政無線の子局をアナログ波対応から、デジタル波対応の機器へ更新を行います。

## ■ みずほ市民メール及びLINE（ライン）登録の推進

みずほ市民メール及びLINE（ライン）の登録者の増加を目的に、様々な機会を捉えて啓発活動を行います。

## ■ 外国人に対する防災・減災啓発の推進

外国人に対する防災・減災対策として、多言語翻訳や音声読み上げ機能のあるカタログポケットに防災読本を掲載し啓発を行います。

## ■ 防災士養成講座の開催

防災・減災に長けた人材を速やかに多く確保するため、市独自で防災士養成講座を開催します。

新たに資格を取得された人材を中心に、防災に関する人材の組織化を目指し、市内の防災教育や防災啓発活動など資格を生かした活動や自治会・校区組織との防災面での連携、そして特に避難所運営協議会などの組織作りとその運営・体制に深くかわる活動など地域の防災力向上を図ります。

## ■ 防災リーダー研修会の開催

防災士・災害ボランティアコーディネーターの方々を対象に防災リーダー研修会を開催します。防災士・災害ボランティアコーディネーターを取得された方々のフォローアップとして、主に避難所の運営や組織作りなどについて研修します。